

2027年3月期 第1四半期 決算説明資料

東証スタンダード | 7991

マミヤ・オーピー株式会社

2026年8月5日



目次

- 01 — 事業内容
- 02 — 2027年3月期第1四半期決算概要
- 03 — トピックス

事業内容



電子機器事業

遊技機周辺機器メーカーとして、アミューズメント業界のオピニオンリーダーとして業界全体の活性化・裾野拡大と健全な発展に貢献しています。

売上構成比率 **68.6%**



スポーツ事業

世界中のゴルフを愛する人々に技術と企画力を通して楽しさと感動を創出します。

売上構成比率 **29.6%**



不動産事業

居住・事業・医療・店舗の空間（不動産）提供ビジネスにプラスワンの付加価値を創出します。

売上構成比率 **1.8%**

※2027年3月期第1四半期。報告セグメント毎の売上高及び売上比率は、セグメント間の内部売上高を含んでおります。

決算サマリー（第1四半期）

安定的かつ持続的な成長を実現するため、以下の取組を推進し、さらなる企業価値向上を図ります。

- 高品質と低コストを兼ね備えた製品の提供
- 顧客の抱える課題に対するソリューションの提案

売上高

40億円

前年同期比 △48.7%

当第1四半期においては、前年同期まで続いた紙幣改刷の需要が終息したこともあり、前年同期を下回る結果となりました。

営業利益

△16百万円

前年同期比 △101.1%

売上高の減少をはじめ、原材料費や物流コストの高騰の影響や、新築不動産に係る租税公課の影響もあり、前年同期を下回る結果となりました。

電子機器事業

27.6億円

前年同期比 △56.9%

前年同期まで続いた紙幣改刷の需要が終息したこともあり、前年同期を下回りました。

スポーツ事業

11.9億円

前年同期比 △13.9%

不安定な世界情勢のなか、国内外での販促活動に注力したものの、前年同期を下回りました。

不動産事業

0.7億円

前年同期比 +34.2%

賃貸マンションである「LUVAST YOYOGI PARK」の竣工もあり、前年同期を上回りました。

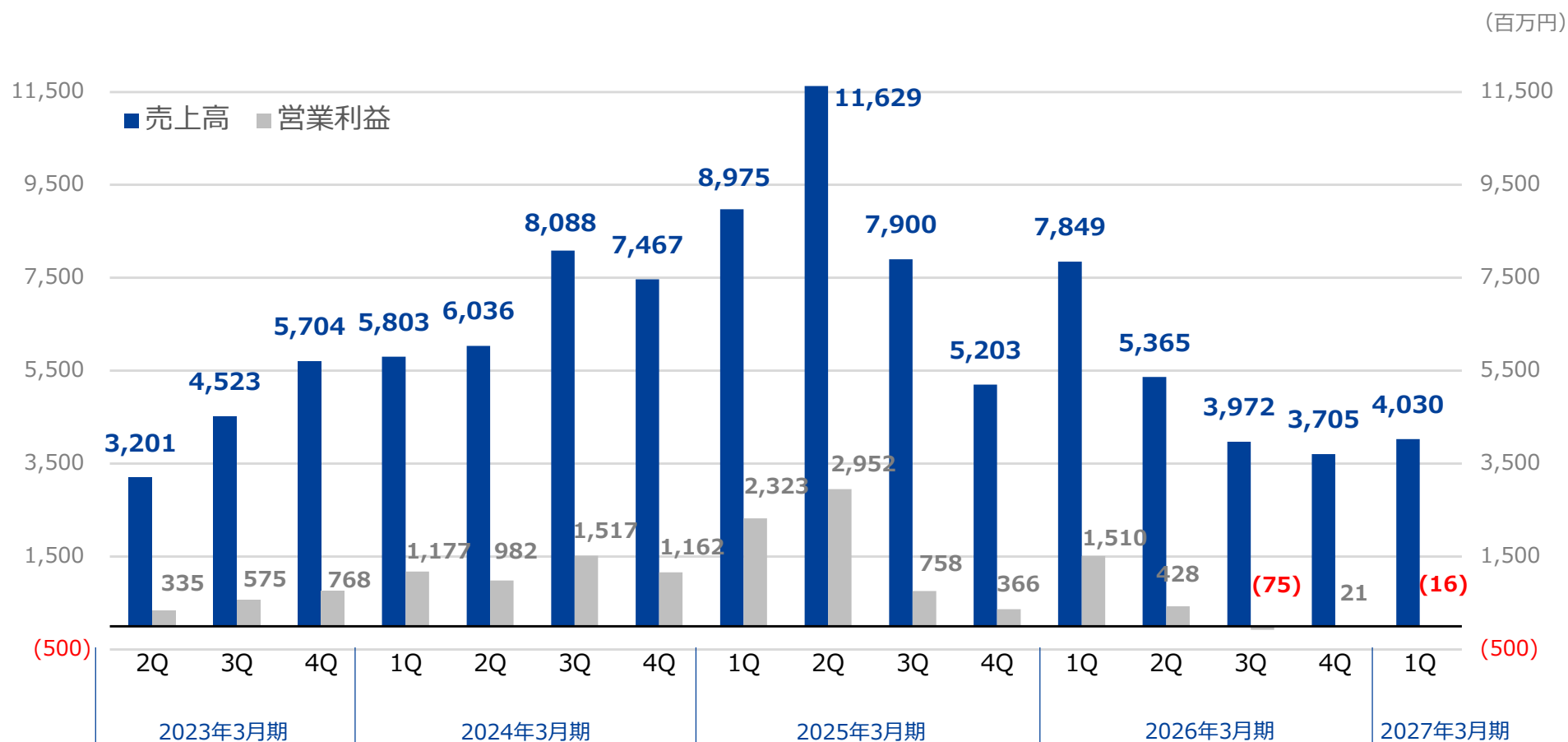
損益計算書 (P/L)

前年同期まで継続した紙幣識別機の改刷対応の終息もあり、前年同期を下回った着地となりました。

(百万円)	2025年3月期			2026年3月期				2027年3月期	前年同期比率
	第2四半期	第3四半期	通期	第1四半期	第2四半期	第3四半期	通期	第1四半期	
売上高	20,604	28,504	33,707	7,849	13,215	17,187	20,892	4,030	△48.7%
営業利益	5,275	6,033	6,399	1,510	1,983	1,862	1,883	△16	△101.1%
経常利益	5,509	6,400	6,790	1,496	2,176	2,313	2,388	190	△87.3%
親会社株主に 帰属する 当期純利益	3,934	4,384	4,718	1,060	1,572	1,649	1,712	135	△87.3%

売上高・営業利益の四半期推移

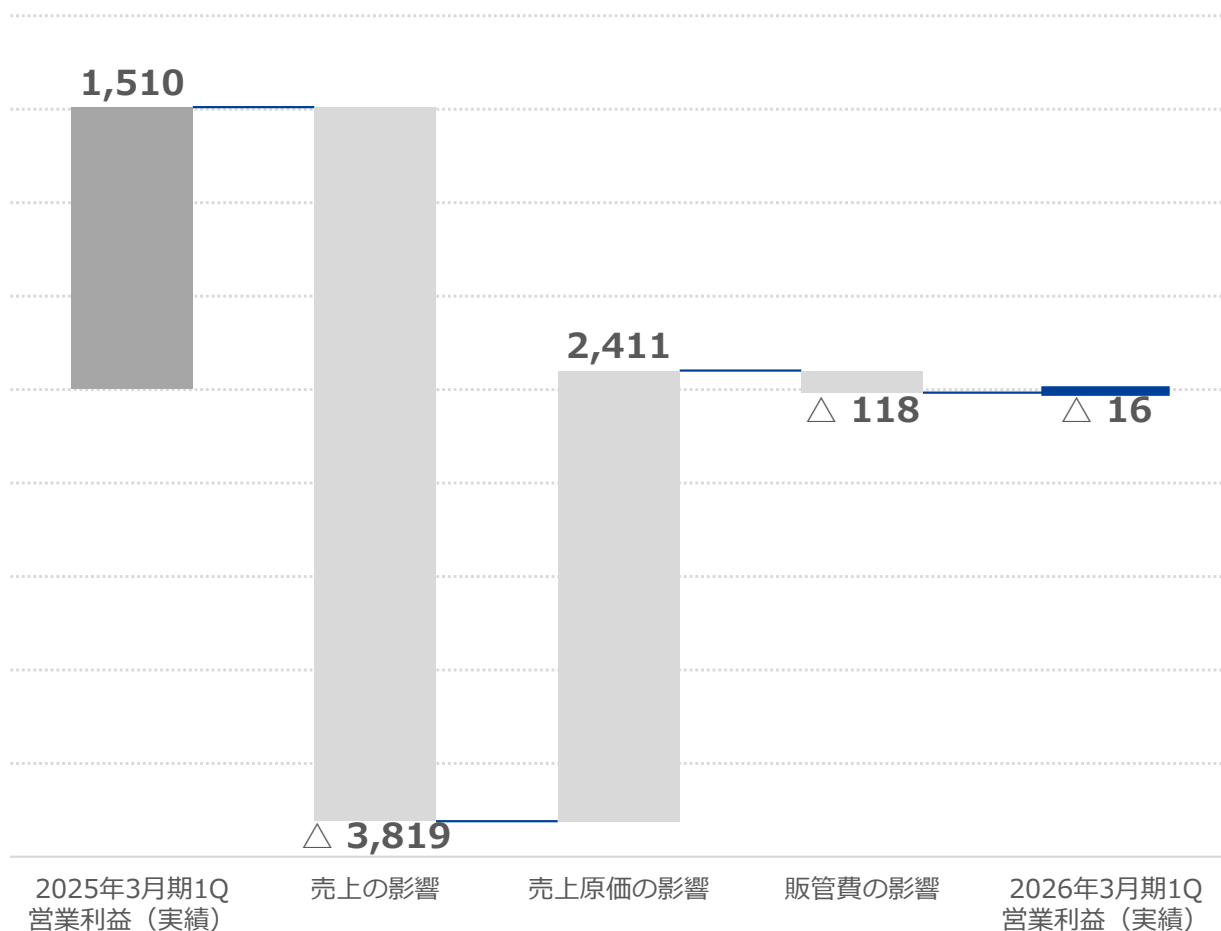
当四半期においては、売上高については一定の水準となりましたが、営業利益については原価率の上昇や、新築不動産に係る租税公課の影響などもあり、低迷いたしました。



営業利益の増減要因

当第1四半期におきましては、売上高の減少が影響したことにより、前年同期と比べ、営業利益は15.2億円減少いたしました。

(百万円)



- 売上高は前年同期比で48.7%減少し、営業利益に38億円のマイナスの影響を与えました。
- 売上原価は前年同期比で45.3%減少し、営業利益に24億円のプラスの影響を与えました。
- 販管費は前年同期比で11.6%増加し、営業利益に約1億円のマイナスの影響を与えました。
- この結果、営業利益は15.2億円の減少となりました。

セグメント別状況

電子機器事業

前年同期まで続いた紙幣改刷の需要が終息したこともあり、前年同期比56.9%の減少となりました。

スポーツ事業

不安定な世界情勢のなか、国内外での販促活動に注力したものの、前年同期比13.9%の減少となりました。

不動産事業

賃貸マンションである「LUVAST YOYOGI PARK」の竣工などもあり、前年同期比34.2%の増加となりました。

(百万円)	2026年3月期 第1四半期(3ヶ月)		2027年3月期 第1四半期(3ヶ月)		前年同期比増減	
	売上高	構成比 (%)	売上高	構成比 (%)	額	率 (%)
電子機器事業	6,410	81.7	2,765	68.6	△3,645	△56.9
スポーツ事業	1,386	17.7	1,194	29.6	△192	△13.9
不動産事業	52	0.6	70	1.8	18	34.2
合計	7,849	100.0	4,030	100.0	△3,819	△48.7

貸借対照表 (B/S)

仕入債務の支払や借入金の返済が進んだことで貸借対照表全体に大きな影響を与えました。

(百万円)

資産の部	2026年3月期	2027年3月期 第1四半期	増減
流動資産	22,248	20,536	△ 1,711
現金及び預金	10,342	9,421	△ 921
売上債権	3,964	3,765	△ 198
棚卸資産	6,828	6,497	△ 330
その他	1,118	857	△ 260
固定資産	17,681	17,289	△ 391
有形固定資産	8,802	8,701	△ 101
建物及び構築物（純額）	1,764	2,400	636
その他	1,659	1,054	△ 605
土地	5,378	5,246	△ 132
無形固定資産	196	195	△ 1
投資その他の資産	8,681	8,392	△ 289
資産合計	39,929	37,825	△ 2,103

負債・純資産の部	2026年3月期	2027年3月期 第1四半期	増減
流動負債	5,760	4,617	△ 1,143
仕入債務	2,220	1,383	△ 837
短期借入金	400	190	△ 210
1年内返済予定の長期借入金	2,318	2,239	△ 79
その他	821	804	△ 16
固定負債	8,051	7,557	△ 494
長期借入金	5,473	5,002	△ 470
その他	2,578	2,554	△ 23
負債合計	13,812	12,174	△ 1,637
株主資本	23,673	23,286	△ 386
その他の包括利益累計額	2,372	2,290	△ 81
新株予約権	60	64	3
非支配株主持分	10	9	△ 0
純資産合計	26,117	25,650	△ 466
負債純資産合計	39,929	37,825,439	△ 2,103

業績予想

- ・ 売上高につきましては、当期予想に対して23.7%と、概ね順調な推移となりました。
- ・ 営業利益につきましては、新築不動産に係る租税公課の一時的な影響などもあり、マイナスとなりました。
- ・ 経常利益につきましては、為替差益によるプラスの影響はあったものの、当期予想に対して12.7%の推移となりました。

(百万円)

	2027年3月期1Q (実績)	2027年3月期 (予想)	進捗率
売上高	4,030	17,000	23.7%
営業利益	△16	900	—
経常利益	190	1,500	12.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	135	1,200	11.3%

トピックス

ゴルフカート用冷風機 「涼風/SUZUKAZE」 発売



熱帯化する日本の夏、快適なプレーにはカートクーラーが欠かせません。

マミヤ・オーピー株式会社のゴルフカート用冷風機「涼風/SUZUKAZE」は、ただの送風機ではなく、アジャストホースから冷風を送り出す最新型カートクーラーです。

既存のゴルフカートに取り付けることにより、近隣コースとの差別化を図り、より快適な夏ゴルフを提供する事ができるため、顧客満足度の向上と来場促進に貢献します。

LIN-Q PowerCore RED & WHITE 発売



UST Mamiya Japan株式会社は、新テクノロジー「PowerCore」を搭載した米ツアーでシェア拡大中のシャフト「LIN-Q PowerCore シリーズ RED/WHITE」を2026年6月11日より発売開始いたしました。

米ツアー通算6勝のリッキー・ファウラー選手や昨シーズン米ツアー3勝のベン・グリフィン選手も使用中の注目のシャフトです。

賃貸用マンション LUVAST YOYOGI PARK竣工



マミヤエステート株式会社が展開する賃貸用マンション「LUVAST YOYOGI PARK」が竣工いたしました。

代々木公園駅徒歩1分の駅近立地であり、1階部分にはコンビニも出店しているため、日常利便性も高い物件となっております。

本資料の取り扱いについて

本資料は、情報提供のみを目的として作成されたものであり、当社の有価証券の売買の勧誘を構成するものではありません。本資料に含まれる将来予測に関する記述は、当社の判断及び仮定並びに当社が現在利用可能な情報に基づくものです。将来予測に関する記述には、当社の事業計画、市場規模、競合状況、業界に関する情報、成長余力及び財務指標並びに予測数値が含まれます。将来予測に関する記述は、あくまでも当該記述がされた時点におけるものであり、将来変更される可能性があります。将来予測に関する記述によって表示又は示唆される将来の業績や実績は、既知又は未知のリスク、不確実性その他の要因により、実際の業績や実績は当該記述によって表示又は示唆されるものから大きく乖離する可能性があります。当社は、財務上の予想値の達成可能性について明示的にも黙示的にも何ら保証するものではありません。

また、当社は、本資料の日付以降の事象及び状況の変動があった場合にも、本資料の記述を更新又は改訂する予定はありません。

本資料には、独立した公認会計士又は監査法人による監査を受けていない、過去の財務諸表又は計算書類に基づく財務情報及び財務諸表又は計算書類に基づかない管理数値が含まれています。

本資料には、当社の競争環境、業界のトレンドや一般的な経済動向に関する統計情報及び調査結果、外部情報に由来する他社の情報が含まれています。当社は、これらの情報に由来する情報の正確性及び合理性について独自の検証を行っておらず、いかなる当該情報についてもその正確性及び合理性を保証するものではありません。また、他社に係る事業又は財務に関する指標は、算定方法や基準時点の違いその他の理由により、当社に係る同様の指標と比較対照性が無い可能性があります。

IRに関するお問い合わせ

マミヤ・オーピー株式会社 総務部

TEL 03-6273-7360

URL <https://www.mamiya-op.co.jp/ir/>